



平成 24 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 ウ シ オ 電 機 株 式 会 社  
代 表 者 名 取締役社長 菅田 史朗  
(コード番号 6925 東証第1部)  
問 合 せ 先 経理財務部長 神山 和久  
(TEL. 03 - 3242 - 1811)

第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

また、通期業績予想につきましても、下記のとおり、修正することいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

(百万円)

|                                           | 売 上 高  | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------------------------------------|--------|---------|---------|--------|------------------|
| 前 回 発 表 予 想 ( A )                         | 80,000 | 4,500   | 5,500   | 4,000  | 30 円 50 銭        |
| 今 回 発 表 予 想 ( B )                         | 71,314 | 3,837   | 3,203   | 1,303  | 9 円 94 銭         |
| 増 減 額 ( B - A )                           | △8,686 | △663    | △2,297  | △2,697 | -                |
| 増 減 率 ( % )                               | △10.9  | △14.7   | △41.8   | △67.4  | -                |
| (参考) 前期第 2 四半期実績<br>(平成 24 年 3 月期第 2 四半期) | 75,098 | 6,506   | 6,848   | 4,564  | 34 円 34 銭        |

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(百万円)

|                             | 売 上 高   | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|---------|---------|---------|--------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 ( A )           | 165,000 | 12,000  | 14,500  | 10,000 | 76 円 26 銭       |
| 今 回 発 表 予 想 ( B )           | 145,000 | 8,000   | 10,000  | 5,500  | 41 円 94 銭       |
| 増 減 額 ( B - A )             | △20,000 | △4,000  | △4,500  | △4,500 | -               |
| 増 減 率 ( % )                 | △12.1   | △33.3   | △31.0   | △45.0  | -               |
| (参考) 前期実績<br>(平成 24 年 3 月期) | 150,087 | 10,696  | 13,112  | 8,748  | 66 円 26 銭       |

### 3. 修正の理由

当社グループの主な事業分野である映像機器関連分野におきましては、シネマプロジェクタ用クセノンランプやノンシネマ製品の販売が堅調に推移いたしましたが、液晶・半導体関連分野におきまして、液晶テレビやパソコン等の需要低迷が長期化しており、露光用UVランプのリプレイス需要が低迷したほか、設備投資の抑制や延期の影響を受け、光学装置の販売が予想を下回りました。また、経常利益、純利益におきましても、株式市況の低迷や為替の影響を受け、予想を大幅に下回りました。

今後につきましては、映像機器関連分野は、引き続き堅調に推移するものと予想されますが、世界的な総需要の収縮が危惧される中、スマートフォンやタブレット端末などの需要拡大要素はあるものの、液晶・半導体、LED関連、その他電子部品関連市場における設備稼働や設備投資の本格的回復には更に時間を要することが想定されるため、平成24年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたします。

なお、第3四半期以降の為替レートは79円/米ドル、101円/ユーロを前提としております。

※当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性がありますことをご承知おきください。

以 上